

# ~その人らしく生きるために~ HumanLife



社会医療法人 関愛会 在宅リハビリテーション通信

目標達成おめでとうございます！

【春号 vol.34】

2024年5月発行



達成目標「百歳の誕生日の記念に絵巻を完成させる」



いくつになっても  
褒められるのは嬉しいことです。



季節を感じるリハビリテーション

大東  
リハビリテーションセンターもみの木



在宅リハビリの  
取り組みを配信中

# 2011年より取り組んできたご利用者様の表彰式

リハビリテーションセンターもみの木では、毎年、年度末にご利用者様の表彰式を行っています。始めたきっかけは、こうぎきデイケア・リハビリテーションセンターもみの木で土曜日のみ開催している社会参加型プログラム「人生活き生き道場」の中で使用している施設内通貨モーミーを活用する目的で、2011年3月に始めた事がきっかけでした。

一年の取り組みを振り返り、私たちの想像を上回る変化や様々な場面でリハビリに取り組んできたご利用者様の努力を労う意味も込めて、職員にアンケートを実施し、それを集計して表彰を始めました。

当時セニアカーにチャレンジしてきたご利用者様は、表彰されたことに感激をして、涙を流されていました。また利用開始時の移動は車椅子であり、今後、歩くことは難しいだろうと医師から言われていたご利用者様が、独歩で歩けるようになり、過去の趣味であった書字の再開や鋤仕事までできるようになりました。



表彰式を始めた頃の写真



このような事例の数々は、決して初めからここまでできるようになるとは、私たちもご利用者様もお互いに思ってもみませんでした。ご利用者様の過去の生活歴やしたいことを知り、そしてそれがいつかできるようになればと、あきらめずに寄り添って関わってきたことが背景にはあります。また、その出来るか出来ないかわからない状況の中で、セラピストとご利用者様の信頼関係はとても重要であり、それが無いとリハビリは成立しません。どのような課題があるのかを一緒に考えたり、小さな目標を立てて、その目標を達成できたら、我が事のように一緒に喜び、そして「褒める」ということをしてきました。「褒める」とまた次の目標が出てきます。阿吽の呼吸で、気持ちを乗せていくようなリハビリテーションを行っていたように思います。

## 褒めることがリハビリテーションの効果にも繋がります。

ここで大事なことは「褒める」ということです。「人を褒める」ということは、周囲の人間と円滑なコミュニケーションを取るために有効と言われています。また脳卒中リハビリの世界的権威といわれるブルース・ドブキン教授は、「褒める」効果を調べ、同じ内容のリハビリを行い、ほめられたグループとほめられなかったグループで「どれだけ早く歩けるようになったかを調べたそうです。

その結果、褒められたグループは、褒められなかったグループよりも改善効果が**1.8倍**上回ったという話があります。ドブキン教授によると、脳には、「報われる」ことに反応する特別なシステムがあり、今回の研究で、「褒める」というシンプルな方法により、このシステムを刺激することに成功し、大きな改善を得られたのではないかと述べられています。さらに、脳はいつも、褒められたがっており、これは脳が自らをよりよいものとするために持つ基本的なシステムだそうです。それは、国籍や人種、文化に関わらず、同じシステムを脳は持っているそうです。だからこそ、その人の変化（成長）を見つめ、よりよい方向に行ったときには、それに気づき、褒めることがポイントになるそうです。

私が提唱していた「意欲を掻き立てるリハビリテーション」とは、まさしく「褒める」ということが大前提であり、またその褒めることが、「できるかわからないけどやってみよう！」という前向きな気持ちへ転換するきっかけにもあります。現在も毎月、各リハビリテーションセンターもみの木から、生き生きチャレンジの目標達成の報告が届きます。そこには、たくさんの笑顔があります。この素敵な笑顔を見るのが私自身の働く意欲（モチベーション）にも繋がっているようにも思います。

目標を達成した際には、表彰式を行い、ご利用者様と担当職員と一緒に写真に収まるようにしています。毎月、素敵な取り組みや笑顔を発信していますので、もみの木のブログ等もお見逃しなくチェックしていただくと幸いです。



外出先で表彰式

10年以上要支援のまま身体機能を維持している方々を表彰しています。→

←場所を選ばず、気持ちの良い屋外やリハ会議で表彰します。



2022 要支援保ったで賞

普段とは違う姿が！  
坂ノ市  
リハビリテーションセンターもみの木

こうぎきデイケア  
リハビリテーションセンターもみの木

# 2015年より職員も表彰される制度を！

ご利用者様の表彰のみならず、職員の表彰も2015年から開始しました。活き生きチャレンジというもみの木オリジナルのチャレンジシステムで、チャレンジ目標の立案や達成状況により表彰されることや、毎月、介護・看護職員が立案して取り組んでいる手作りの壁紙では優秀作品を表彰しています。また法人の理念でもある「自己研鑽」に励んでいる職員も可視化して、表彰の対象として、毎年表彰式を行っています。今年はどうなる作品や職員が表彰されるのか、楽しみです。



＜平成28年度活き生きチャレンジ表彰者＞			＜平成28年度活き生きチャレンジ表彰者＞		
<b>こうざきもみの木</b> 			<b>坂ノ市もみの木</b> 		
<b>こうざきもみの木</b> 			<b>坂ノ市もみの木</b> 		

## 活き生きチャレンジ賞

2021年度

令和元年度 1位  
2位(30P)  
1位(46P) 初入賞

平成28年度 3位  
令和2年度 3位

2位(30P)

こうざきデイケア  
リハビリテーションセンターもみの木

1位  
2位  
3位

自己研鑽・活動したで賞

こうざきデイケア  
リハビリテーションセンターもみの木

坂ノ市  
リハビリテーションセンターもみの木

大東  
リハビリテーションセンターもみの木

平成29年度より開始

とても素敵な壁紙だったで賞

セラピスト賞

こうざきデイケア  
リハビリテーションセンターもみの木

皆勤賞

社会医療法人協賛会  
坂ノ市病院

掲示物賞

こうざきデイケア  
リハビリテーションセンターもみの木

ご利用者様も職員も褒められることでHAPPYに♪

園芸賞

こうざきデイケア  
リハビリテーションセンターもみの木

パワーリハビリ賞

坂ノ市  
リハビリテーションセンターもみの木

掲示物賞

こうざきデイケア  
リハビリテーションセンターもみの木

# 関愛会こうざき・坂ノ市 訪問リハビリテーション便りvol.34 春号

## 社会参加を目指して 繋げ！訪問リハビリ→通所リハビリへ

今回の主役のH様。脳梗塞を発症後は坂ノ市もみの木（通所リハビリ）を利用していましたが、**圧迫骨折を機に意欲が低下し精神的な落ち込みもあり通所リハビリの利用をお休みされ活動性が低下した状態でした。**その為、訪問リハビリの利用が開始となりました。以前も意欲低下から利用を休みがちになったという事が過去にあり、訪問リハビリによる言語聴覚士の働きかけで利用の再開に繋がったという経緯があります。

その為、今回の訪問リハビリの目標も「**通所リハビリの再開**」を目標に取り組みました。通所リハビリでは、過去にH様との外出（坂ノ市ジョイフルや買い物等）を取り組まれており、**社会参加を実現できる通所リハビリへ利用復帰**できることは、ご家族様の希望でもありました。

介入当初、圧迫骨折による痛みにより生活動作上の課題があった為、起居動作の練習や体幹の機能改善に取り組み課題解決を図りました。また、ご本人様への直接的な介入はもちろんのこと、ご家族様へ積極的に関わりました。ご家族様が抱える介助方法への不安や肉体的・精神的な負担軽減を図る為、ご家族様を交えながら、食事や入浴介助方法の検討を行う様にしました。

外出などの外に気持ちが向くためには、日々の介助量が軽減し、**ご本人様やご家族様の気持ちのゆとりが出る**ことが必要です。その為、日々の介助や入浴動作の介助負担が軽減し不安感が少なくなるように福祉用具等の選定や動作確認も行いました。その後、骨折による痛みの軽減し起居や乗乗動作時の介

身体的・環境面へのアプローチで介護負担の軽減を図る！



助量が軽減した段階で、活動性の拡大を図るべく、ご家族様やケアマネ、通所リハビリ担当セラピストと話し合い、春までに通所リハビリを再開する事を目標としました。

そこで、まずは家から出る事に焦点を当て、外出する気構えから取り組みました。元々お花には興味があったH様（この情報は以前から関わっていたスタッフから共有）。その為、4月に通所リハビリの外出にて花見に行く事をH様に提案し、了承を得られた為、それに向けて3月から通所リハビリを週1回から再開予定としました。3月から利用再開に関しては、耐久性の低下や今まで通りの利用が出来るかの不安感があり、スムーズな利用再開とはなりませんでしたが、**通所リハビリの柔軟な対応**により、利用再開の初日は、1日利用から半日利用と急遽変更する事で、無事に再開することが出来ました。その後は、通所リハビリでの車いす座位時間の延長等の取り組み等により、耐久性の向上が見られ、H様も外出への意欲が高まり、ついに4月6日の桜が満開のタイミングで通所リハでの外出のもと花見を息子様同行で実現しました。

今回の花見は、H様も息子様も大変喜ばれたようです。今回、花

見が出来たことがゴールではありません。今後も坂ノ市もみの木での外出プログラムに参加することで社会参加の経験を重ね、ゆくゆくは息子様との外出につながるようになる事がゴールだと思います。

訪問リハでは、可能であれば通所系サービスへ移行できるように働きかける事で、社会参加の足がかりを目指しています。その成功のキは、本人様の意欲ですので、**意欲を掻き立てる様な日々の関わり**を今後も続けたいと思っています！



衣装選び



お化粧

心へのアプローチ！

外出した時のことを考え、服装の確認やお化粧の練習をしています！



庭先の梅まで行き、徐々に移動範囲を拡大！



満開の桜を息子様と一緒に楽しむ事が出来ました！

# こうざきもみの木便り第34報

発行日：2024年5月1日  
編集・発行：こうざきデイケア・  
リハビリテーションセンターもみの木  
広報担当：戸山・多田  
電話番号：097-576-1212  
FAX番号：097-576-1182  
E-mail：mominoki\_reha@yahoo.co.jp



## 令和5年度 年度末表彰式 48名の方が表彰されました



令和6年3月、年度末表彰式を行い、セラピスト賞や皆勤賞など、1年間の努力を称え表彰状を送りました。今年度も元気に楽しくリハビリに取り組み、新たな目標に向けてチャレンジし続けています!!

## 令和6年度 お花見

満開の桜を眺ながらの  
お弁当は美味しい☆三



お花見の為に  
歩いて参加します!!



令和6年4月1日から4月5日の5日間、こうざきもみの木の駐車場にてお花見を行いました。移動は1人1人の出来る能力を最大限に活かし、それぞれ違った歩行形態や歩行ペースではありますが、お花見を楽しむ事を目的に出来る限り歩いて参加をしています。片道100m程の距離ですが、とても道のりを長く感じる方もおり、その先には「お花見」という目的がある為、足取りも普段より軽やかでした！桜の下でのお花見は、会話も弾み花見弁当を前にするとご利用者様からは笑顔が溢れていました。普段は食事の摂取量が少ない方も、いつもと違う環境での食事は完食される方が殆どでした！もみの木では、リハビリテーションの効果を高めるために移動に関しては「出来る能力」を把握し、利用者の活動性を高めるために、最小限の介助もしくは見守りにて移動する様に取り組んでいます。今回、車椅子を使用したご利用者様は、来年のお花見には「歩いて参加するぞ」と意気込んでいます。このように環境が変わることで気持ちも変わり自然と体も動きます。今後もこのようなご利用者様の意欲が高まる取り組みを行なっていきます!!

お花見の様子 YouTubeは右記のQRコードにて→



来年は歩いて参加するぞ(^^)v

### ☆編集後記☆

今年度広報を担当する事になりました戸山、多田です。皆様方にもみの木の様子を分かりやすく発信できる様に頑張っていきます。だんだんと暖かくなってきましたが、引き続き体調管理には気をつけ病気に負けない体作りを目指しましょう!!

# 坂ノ市もみの木通信

No.  
34

発行日：令和6年5月1日  
編集＆発行：坂ノ市リハビリテーションセンターもみの木  
広報担当：三浦・羽田野  
TEL：097-578-6835  
FAX：097-578-6836  
E-mail：sakanoichi\_mominoki@yahoo.co.jp

数年越しの目標達成！安定した杖歩行を獲得し、ご家族様と近くの公園まで散歩♪

A様は以前から坂ノ市もみの木をご利用されており、自家用車を運転してご自分で来所されてきました。もみの木ではイベントにも積極的に協力して頂けていましたが、3年程前に脳梗塞を患い左半身麻痺が残っています。

今回のチャレンジは令和4年の6月に発案したものです。持ち前の元気でリハビリを精力的に頑張っておられましたが、車椅子から杖歩行に至るには並々ならぬ努力が必要でした。屋内での介助ありの杖歩行から始めて、現在は屋外でも介助なしで歩けるようになっています。



## 公園まで挑戦中！

天候や体調不良、思わぬ入院等、約2年越しとなったチャレンジでしたが、A様も「やっとじゃ。これで自信もついた」と大満足した様子でした。今後も公園までの杖歩行練習を続けていき、完全な達成となるよう支援していきます。



## 屋外を歩けるようになりました！

先日坂ノ市病院前にある公園(一周200m)を休憩なしで杖歩行ができ、A様も自信がついたとの事で約2年越しの実施となりました。

チャレンジ当日は、天候にも恵まれて絶好の散歩日和。道中会話しながら、余裕の表情でなんとなく130m先の公園まで辿り着くことが出来ましたが、ここで思わぬ事態に。公園入口にあった坂が思った以上に急であった為、職員が後ろから支える形で坂道を登って頂きました。当初は往復を考えていましたが初めての事で予想以上に疲労があり、帰りは車椅子を使用されています。



## おめでとうございます！！

編集後記

岸本です。入社して3年目に入りました、岸本です。業務にもすっかり慣れて、どんどん新しいことを任されるようになり充実した毎日です！プライベートでも、最近は女子力を上げるためにケーキ作りに挑戦中★「美味しい」と、もみの木の先輩方にも評判なんですよ(◡‿◡) 皆さんも笑顔で元気に新しいことにチャレンジしていきましょう！！(岸本・・・になりました羽田野)

## 百歳の誕生日の記念に絵巻を作りたい

大正13年生まれ、A様は昔から地域活動に率先して取り組まれ、地域のリーダー的存在でした。令和3年に体調を崩され、現在はケアマンションで生活されています。限られた生活スペースの中、何か夢中になれるものはないかと考え、出会ったのが「鳥獣戯画」でした。

3月に百歳を迎えるA様に「記念に鳥獣戯画の絵巻を作ませんか？」と提案しました。最初は「そんなに大それた事はできん」と難しい表情でしたが、塗った鳥獣戯画を並べていくと作品への想いが溢れ笑顔が見られました。毎月、月間デイの到着を心待ちにされ半年以上続けました。

令和5年4月から令和6年3月までの作品を繋げていきました。「こんなに塗ったんやなあ、頑張りました。」と安心したA様の表情は満足感が伺えました。次に絵巻を作っていました。必要な物をご自身で考え、設計図も考えて来られました。材料はご家族様とA様で買い物に行き全て準備されました。設計図を頼りに作業をされましたが、右肩は肩板損傷にて右手が上がりにくいいため、力の必要な作業は職員と行い、見事、世界にたった一つの絵巻が完成しました。

元々活動への参加意欲は高い方でしたが、今回の生き生きチャレンジへの取り組みを通じて、A様の行動力にはとても驚きました。百歳を超え、ますますやる気に満ち溢れているA様です。目標達成おめでとうございます。



## おかばる花公園チューリップ祭り

もみの木では昨年より地域行事である「おかばる花公園」のチューリップ祭りに参加しています。

昨年11月におかばる花公園のジャンボガーデンにチューリップの球根の植えこみを開始しました。

A様は昔からお花が大好きでしたが、下肢の疼痛に悩まされていました。A様から「球根を植えに行きたい」と相談を受けその想いを現実にする為に、多職種で話し合いセラピストの提案で個別リハビリでは土の上での動作練習も行いました。当日は土の上で安定した座位を取り球根を植える事が出来ました。今回の活動がきっかけで外出の機会が増えています。

開花までは定期的に花公園を訪問し、チューリップの状態を確認したり草むしりをして季節の変化を感じながら満開の花畑を心待ちにしていました。

いよいよチューリップを見に行く当日。公園につくと全体にチューリップが咲いており、もみの木の花壇にも、とてもきれいなチューリップが咲いていました。ご利用者様も、とても満足されており 来年は違うデザインでチューリップを植えてみたいと多くの声を頂きました。

デザイン画



様々な高さの作業台



豊後大野市三重町に

きよかわもみの木が移転しました！

# 三重東リハビリテーションセンターもみの木

## 新規OPEN！

### OPEN！！ 2024年4月1日

YouTube



社会医療法人 関愛会  
三重東リハビリテーションセンターもみの木

### 新規オープンの模様などをYouTubeで発信中！

ご利用に関しては、担当のケアマネジャーへご相談ください。

活動内容などを発信しています。「もみの木リハビリ」で検索。



社会医療法人 関愛会  
三重東リハビリテーションセンター もみの木

〒879-7104 豊後大野市三重町小坂 4109-66

電話 0974-22-8655 FAX 0974-22-8656

営業日時：月曜～金曜（祭日、休）8：30～17：30



社会医療法人 関愛会  
三重東リハビリテーションセンター

もみの木

～あなたのしたいを応援したい！  
その人らしい生活を求めて～



#### あきらめない心を大切に

医師・理学療法士・作業療法士・看護師・介護福祉士…様々な職種からなる我々、社会医療法人関愛会のリハビリテーションセンターもみの木は、「あきらめない心」を大切に、共有してきました。病気や障害等を持って、それまでの生き方を「あきらめたくない」、「希望を捨てたくない」「〇〇をしたい!」、そのようなご利用者様の声に寄り添い、その人らしさにこだわり、生活の質を高める為、ご利用者様の「笑顔」の為に「あきらめず」に支援する。そのため、身体機能の評価をしっかりと行った上で、定期的なリハビリテーション会議を通してプログラムを立案し、その人のしたいことを応援していきます。

#### パワーリハビリ

パワーリハビリテーションは、筋力強化のためのトレーニングではなく、マシンを使って無理のない・楽な運動を習慣化させる事によって休んでいる筋肉を目覚めさせ、「立つ・歩く・座る」という日常生活に必要な動作の安定を促進します。



#### レッドコード

レッドコードは、筋緊張を緩めることやロープの長さや位置を変えることで無段階に負荷を設定できます。ロープを握っての運動は安全かつダイレクトな運動が可能となります。集団レッドコードは、もみの木でも人気のプログラムとなっています。



#### 活動と参加の機会を大切にしています



#### 機械浴（座位タイプ）1



#### 一般浴 2



浴槽をご自宅の環境を想定して変更できます。  
ご自宅での入浴を目標に、能力を評価して、できる事をさせていただきながら、できる事を増やしていくよう支援いたします。



#### カフェスペース

ご自身でお茶やコーヒーを入れていただき、ゆっくり過ごすことができます。また調理動作練習などにも活用します。



#### 展望台 畑

展望スペースでは、遠くに見える山々を見ながら、大自然の景色のもと、歩行練習や階段昇降練習を行います。  
畑スペースでは、農作業を通して、不整地での歩行などのリハビリを行いながら、ご利用者様と一緒に野菜作りを行います。



## もみの木 オフィシャルブログ「もみの木の木の下で」

### ★もみの木や訪問リハビリでの出来事を情報発信中！

アドレス：<https://mominoki-reha.blog.jp/>



QRコード



もみの木 リハビリ 検索